

平成26年3月5日

報道関係者各位

8年連続 京都府住宅販売No.1(※1)ハウスメーカー “エルハウジング”

いよいよ消費増税間近！メディア5社限定**プレスセミナー開催！！**

**「2014年の最新住宅トレンド」 &**

**「京都における不動産業界の現状と今後の展開」**

**地域社会に根差した企業ならではの視点から解りやすく解説します**

株式会社エルハウジング【嵯峨野不動産グループ】（本社：京都市右京区 代表取締役 村井孝彦）は、消費増税を間近に控えた3月、「最新の住宅トレンド」と「京都における不動産業界の現状」をテーマにプレスセミナーを開催します。

### <Program>

- 第1部 **【2014年 注目の最新住宅トレンド】**  
一級建築士で京都における設計の第一人者  
西野 尚記（株式会社嵯峨野不動産 設計部 部長）
- 第2部 **【消費増税目前！京都における不動産業界の現状と今後の展開】**  
京都専門の不動産コンサルタント・プランナー  
佐々木 博樹（株式会社エルハウジング 営業部 次長）
- 質疑応答

日時：平成26年3月18日（火）

11:00～12:30

※昼食はこちらでご用意します。

場所：株式会社エルハウジング本社

2F 会議室

京都市右京区山ノ内荒木町7-5 8

（天神川三条下ル西側）

TEL：(075)882-5900 FAX：(075)881-9111

HP：http://l-housing.co.jp/



※1 住宅産業研究所調べ「2012年度京都府着工棟数ビルダーランキング第1位」

お問合せ先

株式会社エルハウジング 〒615-0073 京都市右京区山ノ内荒木町7番地58

TEL 075-882-5900(代) Fax 075-881-9111 HP http://l-housing.co.jp/

広報担当者：佐々木 携帯：090-4496-5673 / E-mail：[sasaki@sagano-g.jp](mailto:sasaki@sagano-g.jp)

## ■ プレスセミナー概要

### 第 1 部 【2014 年 注目の最新住宅トレンド】

東日本大震災や消費増税の影響で、消費者の住宅に対するニーズが変化しつつある中、“安心”と“省エネ”を提供する住宅が注目されています。**「低炭素住宅」**は省エネルギー性能に優れ光熱費を抑えることのできる住宅です。さらに平成 24 年 12 月には認定制度が始まり、**住宅ローン減税**などで優遇を受けることが可能となっています。その他にも家庭内のエネルギーを監視するシステム **HEMS (Home Energy Management System)** や、地震の揺れを耐える**耐震住宅**など、気になる最新の住宅トレンドを解説します。

#### 【第一部 解説者】

一級建築士で京都における設計の第一人者

**西野 尚記 (にしの なおき)**

(株式会社嵯峨野不動産 設計部 部長)

設計職 13 年目 / 1 級建築士

現在はお客様に、より快適な生活を提供する「街づくり事業」に携わっています。豊富な経験と知識を活かして、最新の住宅事情をわかりやすく解説します。



### 第 2 部 【消費増税目前！ 京都における不動産業界の現状】

駆け込み需要の実態は？消費増税による影響は？消費増税にまつわる**京都不動産業界**のリアルタイムの現状をわかりやすく解説します。また増税を前に光熱費を抑える“エコ住宅”が注目されています。太陽光発電装置の設置率や、東日本大震災の後、より重要視されている制震・耐震装置の設置率及び地震保険の付帯率を全国数値と比較する等、**地域に根付いた企業ならではの視点から京都の不動産事情を考察します。**

#### 【第二部 解説者】

京都専門の不動産コンサルタント・プランナー

**佐々木 博樹 (ささき ひろき)**

(株式会社エルハウジング営業部 次長)

営業職 13 年目 / 宅地建物取引主任者

福祉住環境コーディネーター / 不動産キャリアパーソン

長年の豊富な経験を活かし、弊社でマーケティングを担当。

京都に根付いた企業だからわかる「京都の不動産事情」を

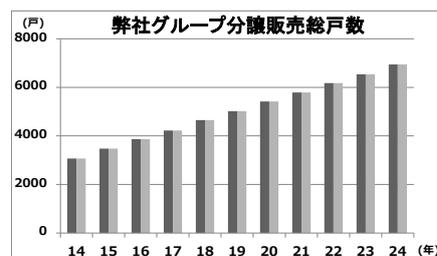
解説します。



### 「エルハウジングとは？」

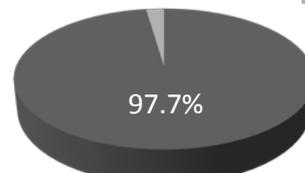
エルハウジングとは、京都における**住宅販売No.1(※1)メーカーとして現在までに約7,000戸の販売及び97.7%の満足度を誇る企業**です。「お客様の喜びを求めて」を経営理念とし、現在、電力不足に貢献すべく太陽光発電や省エネ設備を推奨し、環境にも家計にも優しい「省エネ住宅」を提供しています。さらに、今後の日本の課題となりうる「地震対策」として、当社の建物は災害の拠点となる建物(消防署や警察署)と同じ「耐震最高等級3」の構造にこだわっています。加えて制振装置の標準装備を奨め、**快適で安心な「省エネ」+「耐震」住宅を提供しています。**

また、近年力を入れて取組んでいるのが「街づくり事業」。家だけでなく、街並みとしての景観や、近年減ってきている**「家族のコミュニケーション」「ご近所付き合い」**が増える**コミュニティ創り**に力を入れています。



顧客満足度アンケート調査

- 満足 97.7%
- 未記入 2.3%



※2011年11月～2012年10月自社調べ(アンケート実施入居後4ヶ月)

